

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 383 事業名 新型インフルエンザ対策事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
事項		新型インフルエンザ対策事業		

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
取組	1	結核・感染症の予防及びまん延防止の推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	総務企画課	瀬崎 典男 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実	○	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	新型インフルエンザが発生すれば、健康被害は甚大となり、保健・医療の分野だけではなく、社会・経済の破たんも危惧される。これらのことを防止するために事前に、感染拡大を抑制する対応を行い、発生時においても健康被害を最小限に抑える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型インフルエンザ発生時の対応・行動を計画化し、関係機関と共有し体制を構築する。</li> <li>・ 発生時の連絡体制等をあらかじめ整備し対策の基盤を強化する。</li> <li>・ 病院・各自治体・検疫所等関係機関と訓練を実施し、対応能力を向上させる。</li> <li>・ 新型インフルエンザに対する正しい知識を医療機関や市民に対して普及啓発を行う。</li> <li>・ 感染症担当者を研修会等に参加させ最新の情報や対応を習得する。</li> </ul>				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		1. 新型インフルエンザ対策医療専門部会を2回開催 2. 新型インフルエンザ対策に必要な感染防護具を購入整備 3. 新型インフルエンザの市民及び社会福祉施設や学校・保育所等職員対象に講演会及び研修会を開催した。また市民及び医療機関等対象にチラシやパンフレット等作成配布やホームページに随時最新情報を掲載した。 4. 新型インフルエンザ発生患者の疫学調査を実施し、必要に応じて市立医療機関と	新型インフルエンザ(A/H1N1)に関する情報収集やデータ分析、その結果の情報提供の実施及び新型インフルエンザワクチン接種事業を行った。また、今後新たに発生する新型インフルエンザのため物品の備蓄や体制整備を実施した。 1 流行状況や重症患者、学級閉鎖等の把握（新型インフルエンザ暫定サーベイランス） 2 相談窓口の設置 3 新型インフルエンザワクチン接種事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 咳エチケットの啓発</li> <li>・ 季節性インフルエンザ発生時の対応や啓発事業</li> <li>・ 新型インフルエンザ行動計画の策定準備</li> <li>・ 新型インフルエンザ対策必要物品の備蓄整備</li> </ul>		

2 事業コスト

事業費 千円			平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		10,572	55,265	404,963	70,977	10,640	4,963	10,690		10,690	
	伸び率 (%)		-	-	3730.5%		-97.4%		0.5%		0.0%	
	人件費	常勤職員		34,795		11,405		6,886				
		非常勤職員		2,188		5,714		0				
	小計			36,983		17,119		6,886				
	国庫支出金		9,500	37,896	289,397	472	472	473	490		490	
	県支出金					31,292						
	市債											
その他					29,083							
一般財源(税等)		1,072	17,369	115,566	10,130	10,168	1,340	10,200		10,200		
所要人数	常勤職員		4.54	1.21	1.51	1.21	0.91	1.21				
	非常勤職員		1.5	0.4	2.75	0.4	0	0.4				

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	感染症危機管理研修会受講者数					年度目標値	1	1	1	1
						実績値	1	1	1	
	単位	人	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	啓発回数(市民及び医療機関)					年度目標値	3	3	3	3
					実績値		11	0		
					年度別達成度		366.7%	0.0%		
成果指標	感染防御具の備蓄 ※全体計画達成度は累計実績値/全体目標値とする。					年度目標値	10000	8000	8000	8000
						実績値	10000	4500	9000	
	単位	セット	全体目標値	34000	全体目標達成度	100.0%	56.3%	112.5%		
						年度目標値				
						実績値				
単位	回	全体目標値		全体目標達成度						
					年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	
			A

担当課評価の根拠	法定受託事務のため、現状のまま維持継続する。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	